

調布まち会だより

発行 調布まちづくりの会
住所 調布市布田 1-20-12-203
TEL 0424-88-3985
FAX 0424-88-3986
<http://www.fukuda.is.uec.ac.jp/cmn/ndex.htm>

調布まちづくりの会ニュースレター NO.2 (2000冬号)

郵便振込口座 010151-1-13679
加入者名 調布まちづくりの会

調布まちづくりの会NPO法人申請!!!

私たちは、調布市都市計画マスタープラン策定の役割を終えたあと、1998年10月に市民組織として再発足し、活動を続けてきました。

今後さらに市民・行政協働のまちづくりの推進、まちづくり施策の提言、自主調査・研究、市内外との情報の受・発信など、会の活動を活発化するた

め、NPO法人(特定非営利活動法人)化することとしました。

法人化に賛同する24人の参加を得て1999年11月10日に「特定非営利活動法人調布まちづくりの会」の設立総会を開催し、定款、入会金、事業計画の承認、役員(理事、監事)、代表

者の選出を行いました。

NPO法人申請書は同11月16日に東京都に受理されましたので、早ければ3月中に認証を受け、登記することとなります。(担当・大和田)

調布まちづくりの会ホームページ案内

<http://www.fukuda.is.uec.ac.jp/cmn/index.htm>

会員募集のお知らせ

まちづくりを考え、実践してみたい方の参加をお待ちしています。

年会費 2,000円

(上記郵便振替口座へ)

目次	
まちづくりの会ってなに?	調布まちづくりの会についてです。 UPI
いま取り組んでいること	全体会や分科会の活動記録です。 UPI
スケジュール	まちづくりの会の今後の活動予定です。 UPI
もっと知りたいコーナーFAQ	担当者がお答えします。 NEW!
談話室	まちづくり、声のコーナー。
みんなで作った都市計画マスタープラン	調布市都市計画マスタープランの本文と作成過程などの紹介です。 NEW!
資料室	まちづくりに関する資料室です
リンク	調布市やまちづくりに関するリンク

E-Mail [このページに関するご意見、ご感想をお聞かせください。](#)

ホームページではまちづくりの会の概要、全体会の議事録、部会の様子、集まりやイベントのスケジュールなどを紹介しています。調布市都市計画マスタープランの全文も掲載しています。どうぞご覧になって下さい。

主な内容

まちづくりの会ってなに?
いま取り組んでいること
スケジュール
もっと知りたいコーナーFAQ
みんなで作った都市計画マスタープラン
資料室

1999年11月21日(日)

市民シンポジウム『景観からのまちづくり』開催!!!

私たちのまち調布市の景観は、近年昔ながらの風景が徐々に失われたり、色や建物のかたちがまちまちだったり、ゴチャゴチャと騒がしくなるなどの問題が多く見受けられるようになってきています。このため景観への関心が高まり「この景観をどうにかしなければならぬのでは」というような声が多く寄せられています。

今回の市民シンポジウムは調布市の景観の特徴を自然、歴史・文化、まちなみ、生活の視点からあらためて見つめ直し、景観への市民の思いを語り合うことで調布の景観を考えていく、はじめの第一歩として開催されました。

主催は調布市都市計画課、企画・運営を調布まち会づくりの会が担当しました。



参加50人のみんなでワークショップ(たづくり大会議場にて)

(詳細は次ページをご覧ください)

景観からのまちづくり

前半..ワークショップ「調布の景観を知ろう、見つめよう、考えよう」

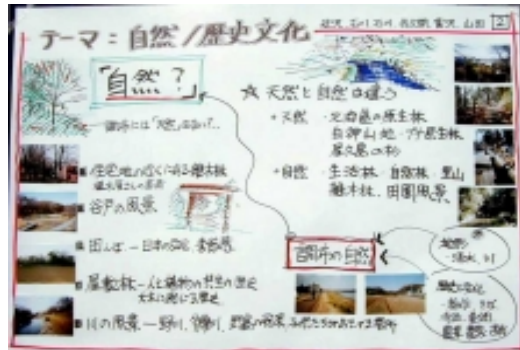
調布市内の写真約150枚をテーブルごとに用意し、各班のテーマに沿って8枚を選び出し、話し合いの内容を模造紙にまとめて発表していただきました。

1班... テーマ：歴史・文化/生活



テーブルサポーター：藤山

2班... テーマ：自然/歴史・文化



テーブルサポーター：山田

3班... テーマ：自然/まちなみ



テーブルサポーター：粟沢

後半..リレートーク「調布のあんな景観こんな景観」

- わたしはこれが好き、あれが嫌い -

[秋沢淳雄さん(染地)]



ワークショップの発表がお上手なのでおどろきました。仕事柄、全国を歩いています。景観を感じるの季節感を感じる時で、変化に富んでおり一度として同じ顔を見せないということが景観として重視すべきことではないでしょうか。また景観にはそこに

暮らす人たちの生活感が表れてくるのだと思います。私は染地に住んでいますが、農地がまだまだ多く、田んぼでとんぼが飛んでいる風景を見ることが出来ます。都心から近いところでのこの環境を守るべきではないかと思えます。またかつて映画のまちであったことも、文化の観点から大事なことと思えます。

子供と接してつくづく感じるのですが、大人は子供へ背中を見せながら育てるんだなと思えます。ですから、子供たちのためにも今の大人がまちづくりをしっかり考えて、受け継がれるようにしなければならないと思えます。

[片桐雅教さん(仙川町)]

市内に39ある商店街のひとつである仙川商店街協働組合(会員数約180)の理事長をしています。景観からのまちづくりについては商店街としても大変関心を持っていますが、個々の店での(景観の)配慮は難しく、商店街で対応



していくこととなります。全国の商店街活性化の事例を調べていますが、景観の観点からはその土地のイメージがにじみ出ていることが重要なのではないのでしょうか。例えば川越は土地のイメージを明確に伝えていきます。

Q;福祉の活動を行っており、1年半ほどかけて福祉マップの作成も行いました。仙川のスーパーで車椅子の方が入店を拒否されたことがあるという話を聞きました。バリアフリー対応の姿勢をお伺いできるでしょうか。

A;バリアフリーは商店街としても重要課題として捉えている。特に出入り口の段差の解消を心がけるようにしています。

[矢嶋崇志さん(深大寺元町)]



高さの揃った家並みを見下ろしたときの感動を今も覚えています。こんな風景はヨーロッパだけでなく、日本にもまだあり、見下ろす景観も大事です。この田んぼの風景(4面写真参照)は60年前のもので

50年前は航空技研の桜並木も甲州街道のけやき並木もなかった。風景は消えてしまう面もあるが、時間はかかるが作り出せるものだと思います。道づくり、まちづくりは急いで悪いものを作らず、時間をかけてよいものを作るべきだと思います。

調布の景観を知り、調布の景観を考える

4班・・・ テーマ：歴史・文化／まちなみ



テーブルサポーター：沖崎

5班・・・ テーマ：まちなみ／生活



テーブルサポーター：原

6班・・・ テーマ：自然／生活



テーブルサポーター：鉄矢

[関森道子さん（調布ヶ丘）]

近所の雑木林の落葉を使って有機農法に随分昔から取り組んでいます。以前畑を平らにするため、川の土を畑に入れたことがあります。けれど土を固くしてしまい、良い作物はできませんでした。それを直してくれたのがその堆肥だったのです。



最近つくづく命を育て、それを戴くことへの生き物への感謝、そしてそれを買っていただく消費者への感謝を忘れてはならないということを感じています。
 （景観の点からは）私の家のカシノキにこぶができてしまいましたが、周辺に自然がどんどん無くなってきていることから、できるだけ生かしてあげたいと思っています。最近マンションも近所に随分建ててしまっ、自然が少なくなり涙が出るほど悲しい。何とか畑として生かすことができないかと思っています。

Q:畑や農地が風景として見られていることを意識していますか。
 A:畑の畦の列ごとに違う野菜を植えたり、ひまわりを植えたりしたこともあります。かつて私の畑で大きなカボチャをつくっていて、道行く皆さんに「どうぞ見守ってやって下さい」と看板を書いて置いたところ、それを見た方々から反響がありました。そのカボチャは柏野小の文化祭で展示いたしました。生き物を慈しむ心が大切なんだということも景観づくりでは重要なのだと思います。

[富沢貴さん（深大寺東町）]

開発行為に伴う緑地、公開空地の緑化、個人のガーデニングを仕事にしていますが、「駅前に公園があるまちですよ」とよく言われます。（調布市以外の）よその人は

調布をどう思っているか。多分すごく良いところと思うのではないかと。（だからこそ）全国一律の公園では困ります。駅前のみどりはほめられるものです。また祇園寺の森はすばらしいのに、木を切ってくれ、葉が邪魔だと電話がかかってくる。市民の方も変わってもらいたい。



公園の個性は調布の地の人の所産である。良く地域を知ること重要なのではないだろうか。例えば生け垣に違うものを植えるようにするなどの調布の景観を創る工夫も必要なのではないでしょうか。

[四方田清さん（深大寺東町）]

調布は都心の近くにありながら、いなか性が残っており、多様なかわりができるところが良いところではないかと思えます。野川で遊ぶまちづくりの会に参加しています。6年前から佐須の田んぼを耕しており愛着が出てきました。収穫祭を23日に行う予定です。当日はもちつきもします。農地を農業として残せるのが一番良いのですが、むずかしい時には生業として以外の農があるのではないのでしょうか。例えば勉強の場とか。そうであれば公的なお金で残すことも可能なのでは・・・



【コーディネーター】（大和田清隆さん：調布まちづくりの会）

リレートークでの話題を集約すると、景観は「見る人」が「見られる立場の人」をどう理解し、「見られる立場の人」が「見る人」をどう意識するかが大切なのではないか、ということが何となく分かったような気がします。今回の成果を生かし、調布まちづくりの会ではこれから「景観部会」の活動としてまちあるきや景観のあり方の検討などを行う予定です。皆さんの参加をお待ちしています。



本日はお忙しいところ、どうもありがとうございました。

シリーズ 調布今昔

～佐須町3丁目に“田んぼ”があった～



1941年(昭和16年)頃の「代かき」風景
左写真提供：大久保光庸氏(富士見町在住)



現在の風景(2000年1月)

「しろかき」とは田植え前に田を泥沼のように柔らかく耕す作業。スキで掘り起こした田に水を入れて、マンガと呼ぶ熊手のようなもので土を粉々にする。当時の動力源は馬、誘導する子どもたちは繁忙期には貴重な労働力だった。代か

きや田植えが終わるとご苦労さまでした、という意味の「マンガ洗い」の行事(飲み会)があり、やがて夏を迎えた。撮影場所は佐須町3丁目で、八雲台小学校から北へ行った三鷹通りからの眺め。(矢嶋)

【お願い】編集部では調布の古い写真を探しています。お持ちの方は「調布まちづくりの会」までご一報下さい。

(仮)まちづくり市民フォーラム準備委員会の動き

市民フォーラム準備会は1999年8月27日よりスタートし、2000年度より立ち上げる市民フォーラム(仮)の骨格作りを、公募10名、推薦5名の委員と調布市との共働作業で月2回の検討会を行っています。

これまで市民フォーラムの目的として、市民同士の情報交換センター、市民参加の体制作り支援センターとして、開かれた場とするという所まで合意ができ、1月からはその体制作り、広報活動、事業計画づくりの各分科会に分かれて3月末の策定目標に向け作業を行っています。調布まちづくりの会からは推薦、

公募併せて4名が参加し、都市計画マスタープラン策定ノウハウを活かしながら、協力して策定活動を行っています。

準備会は傍聴も可能ですので、ぜひ、いらして下さい。

場所：市役所1階(守衛室より入る)
市民フォーラム準備室

日時：1/17・24、2/7・21、3/6・21
19時～21時

当会の市民フォーラム部会では適宜、会員の皆様の意見を募集しています。(担当・石川)

自主調査 シンボル道路沿道の大気汚染調査

7月から毎月一週間連続で、多摩川から深大寺をつなぐシンボル道路のうち調布深大寺線(3・4・30号線)予定地15地点で、捕集カプセルによる大気汚染調査を実施しています。過去6ヶ月間の調査結果を整理してみると、いろいろなことがわかってきました。

例えば、武蔵野市場前の平均NO₂濃度は0.051ppmで他の調査地点より常に汚れています。逆に、布田天神鳥居そばは0.017ppmときれいです(NO₂の環境基準は1日平均値が0.04～0.06ppm以下)。気になるのは佐須街道沿いの

3地点の測定値が高いことです。

今後はこうしたデータを基に、「市民のためのみちづくり」について考えていきたいと思っています。まずは、多くの方から「私はこんなシンボル道路にしたい」というご意見をいただき、『市民発のみちづくり提案』に生かしていく予定です。

ご意見やお問い合わせはまちづくりの会事務局までFAXでお寄せ下さい。(担当・小楠)

このプログラムは東京都環境保全局の助成を受けています。

Information

市政学習部会連続講座
- 市政の仕組みを知ろう -
第8回

情報公開制度って知ってますか？
1月25日(火) / pm 7:00～9:00
総合福祉センター2階203会議室
講師：庶務課行政資料係(係長・主事)

外郭団体の情報公開への協力を明らかに記しているのかしら？ / 意志決定過程の情報も公開対象に含むのかしら？ / 請求から開示までの日数は早いのかしら？・・・など

第9回
個人情報保護制度について
2月22日(火) / pm 7:00～9:00
総合福祉センター2階203会議室

市民のプライバシーの権利の保護
って、知っていますか？

市の職員を講師に招いて、意見交換をしながら市政の仕組みについて学んでみませんか？

調布まちづくりの会定例会

2月15日(火) / pm 7:00～9:00
総合福祉センター2階 団体室

3月1日(水) / pm 7:00～9:00
* 場所は未定です

【編集後記】ただいまパソコン1年生。助けられて助けられて、4ページが立派(?)にできました。みなさん原稿をお寄せください。次号の特集は「みちづくり」がテーマです。(江刺)